

1月の日程 アンケート実施中

春に向け 大幅な待遇改善を目指して

J-WING

日本航空ユニオン宣伝ニュース
No 250(15-04)
2023年12月28日

Tel: 03-5756-8690 URL <http://www.jlu.co.jp> e-mail honbu@jlu.co.jp

日付	1月の取り組み		日付	1月の取り組み
1		24 春闘要求アンケートは1/16 整備安全アンケートは1月末まで	16	PM 中央執行委員会
2			17	
3			18	
4			19	PM 中央執行委員会&支部代表者会議
5	フェニックスピラ7:30~8:30		20	
6			21	
7			22	
8			23	PM 中央執行委員会
9			24	CSZ 労協
10	PM 中央執行委員会		25	PM 中央執行委員会
11			26	
12			27	
13			28	
14			29	
15			30	PM 中央執行委員会
			31	

春闘アンケート集計作業は1月16日 間に合うように回答を

HMZ 説明会で組改について追及

12月22日、羽田航空機整備センター(HMZ)とJLU羽田支部との間で労使協議会がありました。交渉での組合の要望や主張を紹介します。

6月の組改について

- 組改から6ヵ月、振り返ってみてどういう意見が出ているのか？上手くいっていると思っているのか？
- 国際・国内のライン、ドック全てにおいてうまく回っていないというのが職場の感覚。国際のラインは2シフトと3シフトの課があり、人員はいても課が違うからうまくアサインできない。国内は、E-S勤の申し送りができない、夜間の人員が全然足りない。ドックは担当するシップが入ってくるのが遅くて無駄。それで終わらなかつたら残業になる。
- ドックの「1/5N OFF」を「1/10 ES OFF」にして工数を確保しようとするのは姑息なやり方だ。
- 国際線の2シフトを3シフトに吸収して1チームで動いた方が効率いい、という意見が現場からも出ている。

組改について問題点の把握まではできているようです。この組改が成功か失敗か問われたことに対しては、「成功させなきゃいけない」と答えています。

国際線の2シフトについては、今後の中国便の戻りもあるため、カスタマー受託を考えると2シフトを置いてハンドリングする方がいいという考えを示しました。まだ対応策が発表できないことも多いようですが、組合からは「スピード感が足りない！」と指摘しておきました。

その他の話題

- ・ シニアの勤務は時間での短縮勤務も選択できるように
- ・ ランナップエリアの消火器を増やしてほしい。
- ・ 訓練担当者が新規受験者と面談するときの労働時間管理はどうなっているのか。残業はつくのか？

シニアの労働条件改善が課題

今、JALI、JALECではシニアスペシャリストとして65歳まで、JALECに転籍すれば70歳まで特別スペシャリストとして雇用されます。今後2025年に法改正があり、65歳まで定年延長されると考えている人がいるようですが、実際にはそうではありません。65歳までの継続雇用を希望する従業員に対して、「希望者全員雇用」の義務が発生するだけです。そのため、65歳までの期間においては、シニアスペシャリストの採用や更新条件が緩和されることで、特に問題は生じません。一方で、JALI籍の方々には現在65歳以降の雇用がないため、何らかの施策が努力義務として課せられます。

今の再雇用制度は高年齢者雇用安定法の経過措置期間のため、2025年3月までは、60歳到達時点と比較して賃金が75%未満になった場合15%の「高年齢雇用継続給付金」が支払われています。これが2025年の4月からは10%に切り下げられます。2025年に向けて今から賃上げを求めていく必要があるでしょう。

現在24春闘アンケートで60歳以降の雇用について聞いています。今、集まっている主なキーワードはこちら。

2025年4月
高年齢者雇用安定法
改正

夏冬の一時金

同一労働同一賃金

ワークロードの軽減

定年延長

短時間勤務

2025年に向けて24春闘から取り組んでいきます

航空連 政策セミナー (Zoom開催)

内容:①60歳以降の働き方 ②経営分析 ③各職種からの報告

2月3日(土)13:00～ 参加希望者は本部に連絡を

【J-WING245(15-04)号 2023,12,28】